

創立44年目を迎える
新たな歴史と伝統を

春告草～はるつけぐさ～

— 今、井野中で — 『自立・協働・貢献ができる生徒の育成』



「新年を迎えて」

校長 山田 真史

令和8年がスタートしました。みなさんは、どんな気持ちで新年を迎えたでしょうか。

一年の最初は、今年の目標を立てることが大切です。そして、その目標に向かってすべきことを具体的に示し、実践していくことで目標達成に近づいていきます。

継続した努力は不可能を可能にします。努力が続くかどうかは、目標を達成したいという強い意志があるかどうかにかかっています。大きな夢や目標がある人は目標達成に向けての強い意志を持ち、覚悟を決めて突き進んでください。継続は力なりです。

大谷翔平選手がメジャーリーグに挑戦する際に言っていた「先入観が可能を不可能にする」という言葉は、今でも私の心に残っています。高校時代の監督の教えだそうです。日本でさえ、ほとんどの解説者が無理だと言った「投手と野手の二刀流」という大きな目標を掲げ、成し遂げていった大谷選手の第一歩。考え方ひとつで不可能か可能かが変わってくるのだと思います。

中学生の皆さんも大きな夢や希望を持ち、日々の生活を送ってみてください。まだまだ若い君たちですから不可能なことなんてありません。「最初から不可能と決めつけていないか」と自問自答して目標を立ててみてください。1年後に振り返って時どのような感想を持つのかが楽しみです。皆さんの成長に期待します。

今年度はインフルエンザの大きな流行が全国各地で起きています。年明けの状況も予断を許しません。3年生の進路に影響が出ないよう、状況を見ながら対応していきます。急な日程の変更等でご不便をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願ひします。

【1月のおもな予定】 最終下校時刻 16:30

7日（水）始業式	19日（月）3年3校時終了後下校
部活動 10:00～12:00	1・2年一斉下校 15:35
最終下校 12:15	
8日（木）3年生実力テスト① 給食再開	20日（火）教育相談
一斉下校 15:45	カウンセリング室開室日
9日（金）3年生実力テスト②	21日（水）教育相談
12日（祝・月）成人の日	22日（木）図書館司書出勤日
13日（火）カウンセリング室開室日	一斉下校 15:10
15日（木）1年佐倉市学習状況調査	23日（金）教育相談
図書館司書出勤日	26日（月）図書館司書出勤日
一斉下校 15:20	27日（火）教育相談 カウンセリング室開室日
16日（金）2年佐倉市学習状況調査	制服リサイクル
図書館司書出勤日 3年給食後下校	28日（水）教育相談
17日（土）県内私立高校入試開始	29日（木）図書館司書出勤日
	一斉下校 15:10
	30日（金）新入生保護者説明会





2026年も、よろしくお願いいいたします。



昨年の12月から、本校では各学年で書き初め練習会をおこなったり、国語科の授業で百人一首にふれたりするなど、新年という節目にあわせて、日本の文化について学べる機会を増やしています。

古来より伝わる伝統文化にふれる、よいきっかけになればと考えています。

【書き初め練習会】

12月11日(木)、各学年で体育館にて実施しました。集中力を研ぎ澄ませながら、ひたすら手本と向き合うその姿は、さすが中学生！作品をよりよく仕上げようと、がんばりました。中学で学習する「行書」は、点画が省略されるなどの特長をもつ書体。その分、流れるような滑らかさを表現できるおもしろみもあります。行書に親しむ一日にできたでしょうか？

【百人一首】

昔、奈良の都で咲いていた八重桜が、今日はこの京都の宮中でいらだんと美しく咲き誇っているなあ……。

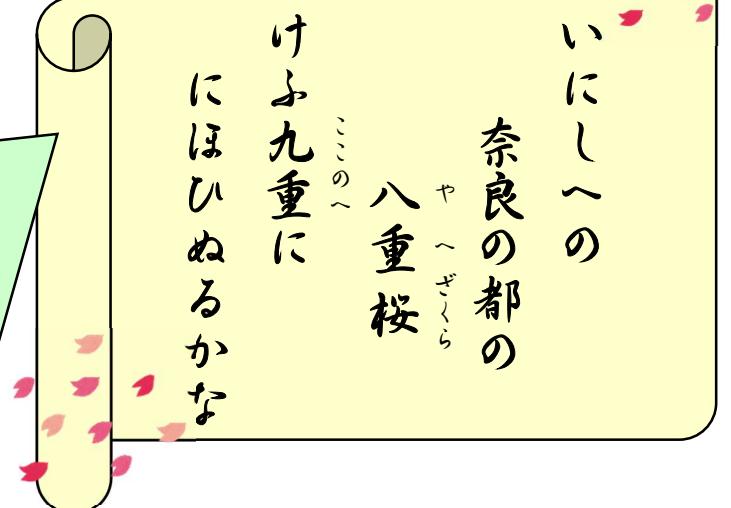
いにしえの都とは、奈良のこと。このときの都は、すでに京都に移されていました。八重桜は奈良では有名な桜で、京都では珍しいので、ちゅうぐう中宮(天皇のきさき)へ贈られました。

九重は天皇が暮らす場所をさします。かつて中国では王宮を九重もの門で囲っていたことから、日本でもこう呼ぶようになりました。

～この歌で使われている対比的表現～

- ① いにしへ ⇄ けふ (今日)
- ② 奈良 ⇄ けふ (京)
- ③ 八重 ⇄ 九重

この歌を詠んだのは、当時、新米の女房(中宮の世話役)だった伊勢大輔いせのたいふという女性。表現技法を駆使して、桜だけでなく宮中の華やかさまで見事に詠みあげた一首です。



私の住むばらばらの家は、都のたつみの方角(東南)にあり、このように心静かに暮らしている。しかし、世間の人は私が世をわざらわしく思って、この山の中で暮らしていると言っているらしい。

この歌には掛け言葉(現代で言うダジャレ)が使われています。

- ・「しか」…①鹿 ②然か(そのように)
- ・「うち」…①宇治(京都の地名) ②憂し(つらい)

また、昔は時刻や方角を、十二支を使って表していました。「たつみ(辰巳)」は東南の方角を意味します。辰、巳とくれば次は午(うま)かと思いきや、鹿(しか)。これには、「午(馬)鹿」を連想させる作者のユーモアが隠されています。

さらに、「うち山」の「う」には「卯(うさぎ)」の意味が掛けられているとする解釈もあります。作者の喜撰法師、言葉遊びが好きですね。

